関大
発行所
関西大学校友会
大阪市大淀区長柄中通二丁目
編集発行人　長柄金吾
電話　大阪㊱代 2072番
振替口座　大阪55594番

七月四日、仲裁案に調印

各理事が出席し建設省で後に残る問題が重要

高速道路問題

既報のとおり本学では、さる五月二十四日建設省が正式に提示した仲裁案について検討を加えていたが、この仲裁案を受諾することにきまり、七月四日建設省で関係者が列席して覚書に調印し確認書がかわされた。

日本道路公団の建設する名神高速道路が千里山学園内をオープンカット方式で通過する最初の公団案に反対を続けた本学側は、建設省の、本学の立場を十分に考慮した仲裁案について専門家や各界の意見を集めたりして検討を重ねていたが、六月十六日の評議員会でも大学の授業研究、将来の総合計画に一応支障ないものとの大多数の結論を得、最初の絶対反対の立場から「仲裁案受諾はやむを得ない」との線にまとまり問題処理を理事会に一任した。関係五機関から諮問委員会も構成され、協議の結果建設省の仲裁案を受諾調印するにいたった。

調印は七月四日建設省で行なわれ、本学からは大月、宮本両理事が欠席したほかが全理事が出席公団から岸総裁、建設省からは村上建設大臣が出席し、骨子である覚書と、道路の構造についての確認書に調印した。

これで一昨年十月来、二年にわたった道路問題も一応終止符をうったわけであるが、このほど調印された覚書というものは骨子だけであり、今後になお種々の問題が残っている。すなわち設計・施工にあたって本学の立場に立った技術者をいれる問題や、地下道上の占用問題、工期の問題、地下道上を含む外苑の復元の問題、その他あらゆる面での支障排除ならびに補償の問題など山積されているわけだ。

一、名神高速道路の関西大学学園敷地通過部分は、建設省提案による別添図面（道路問題増刊号参照）の地下構造とする。この設計が変更する場合には、音響、美観、環境等についてこの設計の効果をそこなわないことを原則とし、日本道路公団は建設省及び関西大学に協議の上、決定する。

二、地下道上の占用については、その範囲、条件等別途建設省に協議の上充分配慮決定する。

三、日本道路公団は、高速道路の通過によって関西大学に与える損害について適切な補償を行なう。

四、工事の施工については関西大学と充分連絡をとり、施工期日、施工方法等格段の配慮を行なう。

昭和35年7月4日
日本道路公団総裁　岸　道三
学校法人関西大学理事長　神宅賀寿恵
建設大臣　村上　勇

昭和三十五年七月四日付覚書一の建設省提案による高速道路の構造は、学園の教育環境を保持し、特に振動、音響、排気ガス等による悪影響を防止することについて充分な配慮をわずらわしたものと存じますが、この点ご確認願います。

昭和35年7月4日
学校法人関西大学理事長　神宅賀寿恵
建設大臣　村上　勇殿

右のとおり確認します。

昭和35年7月4日
建設大臣　村上　勇

評議員会、諮問委員にも報告

この建設省仲裁案に調印したことについて評議員に報告するため調印の翌日にあたる七月五日午後五時から天六学舎で評議員会が開かれた。また関係五者からなる諮問委員にも報告するため七月九日報告会が開かれた。

道路問題で増刊号発行

校友会では高速道路学園内通過問題につき関係者の努力で最終段階を迎えたのを機に六月二十五日付で増刊号を発行した。

論壇

大学評議員選挙に望む

学校法人関西大学の組織運営の母体である理事、監事、評議員の任期は今秋九月末日で終了する。四年の任期が同時に到来することになる。学校法人関西大学の管理権を有する理事九名の過半数を占める六名は評議員会の選任したものであり、また学校法人の財産および理事の業務執行を監査監督する監事三名もまた評議員会で選任されたものである。評議員はこれらの権限のほかに、学校法人の予算、決算、借入金ならびに基本財産および重要財産の得喪に関する事項などについては議決機関となる評議員会の構成員であり不動産および積立金の管理寄付金の募集、剰余金の処分、規則の制定改廃、その他理事の業務についての重要な事項に関しては理事長の諮問機関である評議員会の構成員である。したがって評議員会の権威は、これを構成する個々の評議員の資質によって資価されることになる。それほどに評議員の使命は重かつ大である。

この評議員には学長職、学校長職として当然評議員となるものと、法人の職員中から選任された十五名の評議員と、校友の中から選任された五十名の評議員と、このほかに、学識経験者として理事会が推せんする評議員の四種がある。しかして推せん評議員の十五名は今回の選挙委員となった十名と現職理事監事中から五名が選ばれ、すでに去る六月三十日の評議員会で決定した。また学長、学校長としての当然職位評議員となるものも決定されている。したがって今秋の選挙によって決定する評議員は法人職員を選挙母体として選任される十五名と選挙人名簿に登載された校友の選挙によって選任される五十名のみである。それ故に校友から選任される評議員は数においても過半数を占めるのであるから、評議員会の運営に最も重大なカギをにぎるものといわねばならない。関西大学は校友経営の民主的組織大学であるという世評はここに由来するのであろう。校友からも候補辞退の事前申し出者数名あるのもその一因ではなかろうか。国会議員や地方議会議員の選挙と異なるのは選挙権者が卒業年次や、卒業学校別などによって年齢的階層等の人間関係の特殊をもっているからである。そこに公平かつ公正に選挙が行なわれたとしても票の偏在する不公平の結果を招くことになりはしないか。この便投票一によって選挙を行なうのである。であるから百名の候補者のうち五十名が当選し、五十名が落選することになる。

ここで問題となるのは選挙委員会が推せん決定する百名の候補者で、学識、経験、手腕の三拍子を具有し、関西大学の経営を担当する評議員としての適格性は十分であったとしても、果して激烈なる選手戦に勝ち抜いて当選可能性ありや否やの判定がなかなか困難と思う。すでに現任の評議員の中からも候補辞退の事前申し出者数名あるのもその一因ではなかろうか。国会議員や地方議会議員の選挙と異なるのは選挙権者が卒業年次や、卒業学校別などによって年齢的階層等の人間関係の特殊をもっているからである。そこに公平かつ公正に選挙が行なわれたとしても票の偏在する不公平の結果を招くことになりはしないか。このことは既に前一回の選挙によって経験済みであり、証明されたのである。それ故に大学当局においても数年前より寄付行為改正委員会を設置して、主として評議員選挙に関する研究を重ねてきたが、民主々義に逆行する結果をおそれて未だに改正を実現することができぬまま今次の選挙にのぞむことになった。

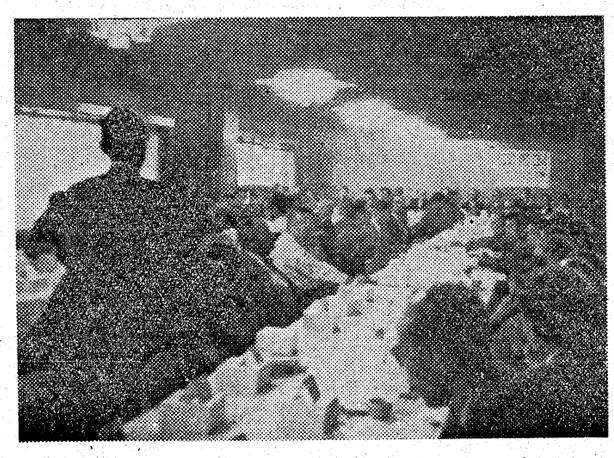
以上の諸点を十分考慮し、しかも古くして若い関西大学、伸縮柔軟性に富む関西大学の現況を素直に認識し、教学面を担当する教授団にも深い愛情と理解をもちつつ大学の大学たるゆえんに徹した経営を適正に遂行でき得る適格者を評議員の候補に選定し、この枠内で自由選挙ができる体制をつくることは選挙委員会の大きな任務である。重ねて主張しておくが古くして若い関西大学の経営人としてふさわしい人材を選定すべきであるも決定されている。したがって今秋の選挙によって決定する評議員は法人職員を選挙母体として選任される十五名と選挙人名簿に登載された校友の選挙によって選任される五十名のみである。それ故に校友から選任される評議員は数においても過半数を占めるのであるから、評議員会の運営に最も重大なカギをにぎるものといわねばならない。関西大学は校友経営の民主的組織大学であるという世評はここに由来するのであろう。校友からも候補辞退の事前申し出者数名あるのもその一因ではなかろうか。国会議員や地方議会議員の選挙と異なるのは選挙権者が卒業年次や、卒業学校別などによって年齢的階層等の人間関係の特殊をもっているからである。そこに公平かつ公正に選挙が行なわれたとしても票の偏在する不公平の結果を招くことになりはしないか。このことは既に前一回の選挙によって経験済みであり、証明されたのである。それ故に大学当局においても数年前より寄付行為改正委員会を設置して、主として評議員選挙に関する研究を重ねてきたが、民主々義に逆行する結果をおそれて未だに改正を実現することができぬまま今次の選挙にのぞむことになった。

以上の諸点を十分考慮し、しかも古くして若い関西大学、伸縮柔軟性に富む関西大学の現況を素直に認識し、教学面を担当する教授団にも深い愛情と理解をもちつつ大学の大学たるゆえんに徹した経営を適正に遂行でき得る適格者を評議員の候補に選定し、この枠内で自由選挙ができる体制をつくることは選挙委員会の大きな任務である。重ねて主張しておくが古くして若い関西大学の経営人としてふさわしい人材を選定すべきである。

全国支部長会議

45支部から出席

大学PR映画も好評



校友会と大学の共催で七月二日大阪・産経会館で行なわれた学術講演会のあと組織部では会場を同ビルの9階・新大阪グリルに移して全国支部長会議を開催した。

全国各支部のうち四十五支部が出席、来賓として矢口学長、久井専務理事、矢野常務監事、阿部議員会議長、吉永教養部長が出席、校友会からも大月会長ら関係者が列席して始められた。

寺西組織副部長の司会・樫本副会長の議事進行で進められた。

はじめは大月会長が遠隔各地からも出席してくださったあいさつしたあと、校友会の現状についての概略説明があった。

ついで門上組織部長から校友会の詳しい現況報告と全国支部の現況について報告があった。またあわせて今夏各地方で開く講演会の計画を公表、多数参加を要請した。

来賓あいさつにはいり矢口学長が昭和二十八年当時と現在とを比較して母校の発展ぶりを説明、この日の午前、千里山学舎を視察してその発展ぶりにおどろいた各地支部長に再び感銘を与えた。

ここで各支部長からそれぞれの支部現況が報告された。

支部活動の活発化をはかる方策や会費徴収についての苦心、名簿作成方針、区域制を実施して連絡を密にする方法など各支部が苦心のすえ実施しているいろいろの運動や方針がのべられ、他支部はじめ本部にとっても参考になる声が多かった。

また各支部の声として会館建設の早期実現など望む声もきかれ、先だって上映した大学PR映画「大阪の華」も大好評であった。

来月、三地方六ヵ所で

今夏の地方講演日程きまる

組織部ではここ数年来、各地方で校友会組織の強化と大学のPRをかねて各種の講演会を開いて非常な好評を得ているが、今夏も東海、四国、九州の三地方で映画と講演の夕べを催すことになった。

講演会日程
東海地方
8月3日　名古屋市（中区役所ホール）
〃4日　岐阜市（市立名徳会館）
九州地方
〃11日　長崎市（市内袋町・カトリックセンター）
〃13日　鹿児島市（西鹿児島駅前・市立農協会館）
四国地方
〃26日　丸亀市（未定）
〃28日　高知市（未定）

今夏の講演会開催にあたって組織部では早くから何回も部会を開いて具体案作成を急いだ結果、各地方の意向も打診し、ここに本決りを見たわけである。

前回までは七月、九月にもわたったが今年は八月中にしぼられた。

第一回目は東海地方で、八月三日名古屋市、四日・岐阜市で行なわれる。

会場は名古屋市は中区役所ホール、岐阜市は市立名徳会館である。講演は時局、経済問題がとりあげられるが講師は本学から山崎紀男、松原藤由両教授が出席する。

つづいて中旬には九州地方で行なわれる。八月十一日に長崎市内、十三日に鹿児島市内である。

会場は長崎は市内袋町・カトリックセンターで、鹿児島は西鹿児島駅前・市立農協会館であるが、本学から出席する講師についてはまだ決定していない。

最後の計画は下旬四国地方で行なわれる。八月二十六日に丸亀市内、二十八日に高知市内で行なわれることは決定したが会場、講師など具体的な細目については近く決定をみるものとみられる。

各地方、各会場とも開会はいずれも六時で、本部から組織部員はじめ事務局も参加して準備などにあたる予定。

宣伝にあたっては、街頭ポスター、市電、バス車内広告、宣伝カーなどあらゆる広告機関を利用して市民に徹底させる方針だが、同時に在学生、同父兄や校友にも本部、支部を通じて連絡をすることになっている。

校友会では全校友、在学生はもちろん、一般市民、学生など多数来聴されるよう強くのぞんでいる。

同窓会に、御商談に、大阪から一番近い温泉郷、同窓の御方には特別割引
国際観光旅館
錦溪温泉油屋
営業主（昭19卒）山田　清
南海高野線三日市町下車スグ（ナンバより45分）
電話河内長野 14. 338. 356
大阪案内所 (77) 8590

前年度決算承認さる

総額七二二万余円

昭和三十四年度校友会収支決算報告承認の件を議題とする常議員会が六月二十七日午後五時から三十五名が出席して開かれ、収支七二二万一九七〇円にのぼる三十四年度収支決算報告を承認した。これは同年度予算を約九〇万円下回っている。

収入の部 予算	収入の部 実績	項目	支出の部 実績	支出の部 予算
4.570.000	4.329.584	本会計	4.300.108	4.570.000
1.677.800	1.748.621	新聞会計	1.748.621	1.677.800
380.600	407.000	総会会計	407.000	380.600
1.500.000	727.765	終身会費		
	10.000	別途会館建設資金	10.000	
		積立金	727.765	1.500.000
		次期繰越金	29.476	
8.128.400	7.222.970	計	7.222.970	8.128.400

寒川総務部長が司会し、大月会長のあいさつで始まった常議員会はそのあとすぐに西村財務部長の決算報告にはいった。

本会計のほか、特別会計として新聞会計、総会会計、終身会費会計などの項目について収支の明細がくわしく説明報告されたそのあと、監事を代表して梅原監事が会計監査の結果、公正かつ正確であることを報告した。

この財務部長説明、監査報告のあとこの決算報告について数氏から質疑があり、財務部長から応答があったのち満場一致で承認された。

予定された議題を終了したあと、門上組織部長から全国支部長会議開催について、村上事業部長から学術講演会開催についてそれぞれ説明報告が行なわれた。

このほか、関大会館建設について希望意見などが出、午後七時四十時無事閉会した。

盛況に終る

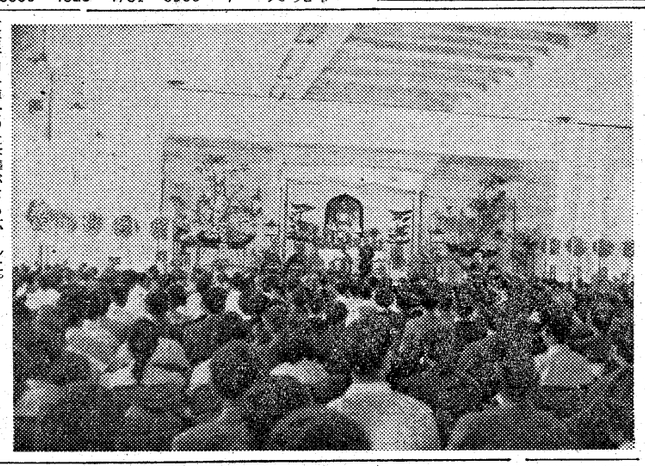
関西大学創立七十五周年を記念しての学術講演会を、七月二日午後一時から、大阪・桜橋の産経会館で校友会主催のもとに開催した。

今回は、本学工学部創設二年目をかぞえその発展をかねて、本学工学部部長・田中晋輔博士ら工学関係の講師二名を迎えて開いたものである。まず、映画「原子力と生活」で最近の科学の動向を紹介してから、工学部長・田中晋輔博士が「私学と技術教育」について講演、つづいて、東京大学名誉教授であり日本原子力委員として活躍の兼重寛九郎博士が「原子力開発最近の動向」と題して、最後に、東京工業大学名誉教授・電力中央研究所技術研究所長の内田俊一博士が「エネルギー問題の現状と将来」について、具体的な例を示して講演した。

昨年の文芸講演会の時と、ひろっと趣きが異るだけに、いささか懸念されたが、校友、学生をはじめ一般市民多数の来聴者があって盛況をきわめた。小学校の先生で熱心にノートをとる姿も見られ、これらの充実した内容をもつ地味な講演会も、大学ならびに校友会主催でこそ開かれるもので、今後もこのような催しをどしどし開いてほしいとの要望が聞かれるなど、なかなかの好評であった。カットは講演会もよう

学葬しめやかに行なわる

岩崎博士の遺徳しのび多数会葬



故岩崎卯一博士の大学葬がさる六月三十日午後一時から千里山第一学舎講堂で天竜寺管長の執式により多数の関係者が列席して盛大に執り行なわれた。

まず午前十一時、位牌、遺骨、遺族、親族および脇道師が岩崎家をでて十一時四〇分関係者、学生が整列して迎えるなかを式場に到着した。

十二時四〇分、正副委員長、喪主代表者、遺族、親族、葬儀委員、評議員、信徒、来賓、校友、学生グリークラブらが静かに式場にはいり、つづいて管長、脇道師、役僧、五寺院が着席して午後一時式が開始された。

参列者全員合掌ののち、弔詞がよみあげられた。博士の功績をたたえ葬儀委員長、学長、大阪府知事、日本私大連会長、日本社会学会会長、大阪府人事委員長、評議員会議長、学生代表らが弔詞をよみあげた。大月校友会長も博士が校友会長の職にあったときの功をたたえた弔詞をのべ、その他多数の弔詞は、霊前に披露された。

文部大臣はじめ各方面からの弔電がひろうされ、念誦、焼香などが行なわれ、葬儀委員長神宅賀寿恵氏、喪主、各代表、親族の焼香が行なわれた。

学生グリークラブが静粛のうちに挽歌を斉唱、最後に神宅委員長のあいさつをもって葬儀式を終了、一般告別式にうつり、午後三時半、挽歌を終った。

「大阪の華」完成

母校のカラーPR映画

約一年をかけて制作を急いでいた本学のPR映画がさきほどできあがり、PR委員会はじめ関係者を集めて封切られたのをはじめ、校友会支部でも上映され好評だ。

これは関西大学が創立七十周年記念式典と学生生活をおさめた大学紹介PR映画を三十年に制作して以来校友、学生その他の集まりの際上映されていたが、その後大学が急速に発展し、映画もすでに天然色時代にはいったため、こんど新しいものを作ったわけ。

題は「大阪の華」、一六ミリ総天然色で映写時間は約三分、制作は毎日映画社が担当した。

映画はチャイムベルの音で始まり大きく脈うつ大都市大阪の鳥瞰があり大阪という大きい社会と密着して大学が成長してきたことをあらわす導入部があって「大阪の華」のタイトルがでる。

スタイルは物語形式と演劇形式をミックスしたもので、学舎、学部、環境などをはじめ体育、文化、学研など学生の活動の説明も単に平面的なものとせず、数人の学生を主人公にして四年間の数々の行事の流れのなかに回想するような形式で画かれている。

外苑の美しい景観、大学祭のおもいでなど校友にとってもなつかしい場面が多いことだろう。最後は四年の研鑽を経て卒業証書を手に力づよく巣立って行くところで幕となっている。なお、シナリオは同映画社・橋本制作部長である。

夏休み

本学学部はさる七月一日から夏休みに入った。近く二中、一高が夏休みにはいると全学休暇になる。

その間、天六学舎では教職課程の夏季講習が行なわれている。

夏休み期間中の執務時間は午後五時まで、学生課は七時まで、経理課は六時まで。学内電話交換も五時までとなっている。

葦の雫

兼好法師なら何というだろう。とにかく、ここ二カ月ほど、日本には政治が全くない。二・二六事件や五・一五事件の殺ばつさはないにしても、国会はデモ群にとりまかれ、警官とのもみあいで死者を出し、新安保条約は発効したが、日米修好百年祭のトップ行事であるアイゼンハワー米大統領は日本へ来られなかった。学生は校門を出てデモの先頭に立ち、国会議員は右往左往し、いわゆる文化人、学識者もデモの経験を味わった▼続いて、新内閣の首班をめぐる自民党の内部争い、テレビやラジオ、新聞にしがみついて国会デモを見て怒り、憤り、泣いた国民は、今度はスイッチを切り、新聞の政治面から目を放してしまった。左といわぬ、右ともいわぬ、国民のために、日本のために、立ちあがる政治家はいないものか、ロケットやミサイルの時代に、小さな島国一つまとめきれない、民主々義のルールも守れん首相が、ゴルフ場でのエチケットだけ守って何の紳士かともいいたい▼道路一本つくるのに公団も知恵がなさすぎた。受けて立った大学も万全の構えがあったかどうか、後世論議の的となろう……が、とにかく、一応学園の地下を道路が通ることになった。いまはその工事の迅速と完ぺきを祈ってやまない。校舎、学生、教授、教育後援会、評議員会を含めた理事者、その全部が苦悶し、激昂し、或は沈痛さを加えた。▼道路問題一つとれである。政治は冷静さと良識、それに十分に話し合う広場が必要なのはいうまでもない。ところが、日本人は事をあせり過ぎる、日本の歴史は、この「あせり」の集積で出来上ったように思えてならぬ。特に明治維新このかたの動きを見ていくと――▼いよいよ八月からローマオリンピックが開かれる。四年後の日本でのそれを計算に入れての選手派遣だろうが、人数だけは世界一流国、若人のフェアプレーが世界を結ぶ絶好の機会である。本学からも何名かの選手が派遣される。これだけはだれに遠慮もいらぬ精一杯の力を発揮して帰ってもらいたい▼兼好法師ならずとも、この暑い夏だけは、すまじきものは政争、青たたみに寝ころんでテレビでも見て夢をローマのスタジアムに走らせたい▼のきしのぶの風鈴の音に頭を洗うひとときを持ちたいのは、ひとり筆者だけではあるまい。

財産づくりに…
ゴールドプラン
（詳しい説明書差し上げます）
大和證券
大阪支店　東区今橋二
電話大阪（23）731（代表）

最高位
入賞
1960年新スタイル
全国紳士服コンクール
内閣総理大臣賞受賞
片野洋服店
本店　大阪市東区北浜三丁目電停前
電話㉓0565～7
大阪駅前店　第一生命ビル専門大店
電話㊳6716
★大阪有名店加盟店
★日本信販加盟
★大阪信販加盟
★大阪府職員互助会加盟店
御一報次第見本取揃え参上致します

お座敷・北京料理
天山閣
生玉境内　電話㉗2285・3550・4828・4731・5960

福助靴下
あなたの個性を生かす
福助足袋株式會社　福助商事株式會社

Chance!
10,000円で免許がとれる
車を駐って
野に山に……
あなたの青春を
満喫して下さい
トヨペットクラウンデラックス
大阪トヨペット直営
十三自動車練習所
大阪市東淀川区野中北通り1丁目大阪39－2136
阪急電車「十三駅」下車、北へ徒歩約10分
市バス、阪急バス「堀上通停留所」すぐ

株式会社　大林組
取締役社長　大林芳郎
本店　大阪市東区京橋3丁目75番地
電話　大代表㊹861
支店　東京・札幌・仙台・名古屋・岡山・広島・福岡・高松
出張所　神戸

皆さまと共に栄える
大和銀行
本店　大阪市東区備後町2丁目
店舗国内全国主要都市百余カ所
海外　ニューヨーク・ロンドン駐在員事務所

あちこちの支部から

岸和田支部

新支部長に岸田久馬氏
吟詩に岩崎博士を悼む

三十五年度の総会を七月三日（日）午後二時から市内の千喜利荘で開いた。

名簿によると在住在職校友が三二三名、大正初年の先輩から、最近の卒業生まで連絡がよくとれて親和の実をあげているのがこの支部の特色だ。総会の出席者はいつも五十名前後で、当日は大学から中川経済学部長と文学部の金子教授が校友会から大月会長が出席した岸田幹事長の司会で先き程故人となられた岩崎前学長の霊に黙禱をささげてのち辻野支部長があいさつ、中村忠夫氏（大6専法・議長）となって議事をすすめ、会計報告の承認、役員改選があった。

その結果幹事長の岸田久馬氏（昭4専法）が新支部長になり、二十数年間支部長であった辻野新二氏（大6専法・弁護士）は顧問として会のために尽されることになった。ついで新役員を代表して岸田支部長のあいさつ、中川経済部長、金子教授、大月会長から大学の近状や高速道路の問題、また校友会の状況について報告があった。以上終って開宴したが、当日決った主な役員は次の通りである。

支部長―岸田久馬、副支部長―森田森、伊藤増一、松原政治郎
幹事長―外山英一
顧問―辻野新一、岸村徳太郎、中村忠夫、原田満、山下稔一、角野助之輩、中道武次、徳田琢磨、塚本幸一郎、二森敏朗、瓦谷未雄、相談役―三谷義忠、武輪好夫、吉岡旭、中家利国、西田利広、西田亮哉の諸氏

なお席上で恩師岩崎先生の逝去を悼んで、田中篤、藤原房蔵両氏の作詩吟詠があった。

岩崎先生を悼む
学舎の樹色　弔意に満ち
霊前慟哭　別離の悲しみ
戦後には偉なる人物出づべきといわれし師ゆ今はこきとは
政治的学究的なる先生の偉なる功績とはに讃えん
恩愛の遺訓　興栄の策
魂はくとこしえに香る千里ケ丘

羽曳野支部

本部事業に協力を
会員名簿を発刊

羽曳野支部第二回総会が、六月十八日午後六時から、大阪・アベノの新装された地方公務員寮、以和貴荘で十数名が集まって開かれた。

議事は、秋山剛氏（校友会代議員・昭23専経）の司会ですすめられ、杉本巌幹事長（校友会代議員・昭8専経）が「みなさんの協力によって、大学と校友会の飛躍のために努力する」と語れば、西本寛一支部長（校友会代議員・大11専経）も、支部の一番の目的は会員相互の親睦であって、支部の事業としては、本部の事業にもとづいて協力する旨をあいさつした。つづいて、秋山剛氏の支部の設立からの会計報告が行なわれ満場一致で承認された。

校友会を代表して大月会長が参席して、校友会ならびに大学の現況報告を行なった。そのあと、西本支部長の音頭で乾杯、懇親会にうつった。

なお、当日は支部会員二百三十三名を収録した会員名簿が発刊された。

宝塚支部

支部長ら重任
幹事を若手に委嘱

宝塚支部ではクラブの名を『嘉水会』と名付けて、六月二十五日（土）午後六時から支部長・谷口隆佳氏の肝入りで宝塚ホテルで総会を開いた。大阪・生野区長の富川竹治郎氏、校友会長・大月伸氏も宝塚在住で同支部の副会長、顧問である。また大阪税理士会長の藤原竜太氏、岡田ネジの柏木氏、和田正節氏も顧問で顔を揃え、二十名が集まって、晩餐をともにした。なんといっても校友の一番の関心事は高速道路の問題で、席をロビーに移して総会の議事の後でも大月校友会会長からくわしい経過の報告があり、理事者として腐心していることを述懐された。たまたま当日は新聞「関大」の道路問題増刊号を配付、大勢を理解して、当事者の苦心をねぎらう発言が多かった。

なお、役員改選では支部長、副支部長ともいずれも重任、顧問に二、三氏を追加、幹事には卒業年次の若い人々をより多く委嘱して活発な支部活動の出来る態勢を整えることに意見がまとまり、支部長、副支部長で協議して委嘱することになった。

支部長　谷口　隆佳氏
副支部長　富川竹治郎氏
　　杉本　信雄氏
支部事務所・宝塚市川面御殿山三四、谷口隆佳氏方（電話宝塚二三七六）

泉佐野支部

松浪支部長を再選
母校の隆盛を祝う

泉佐野支部では校友の親睦と役員改選をかねて、さる六月二十五日泉佐野市料亭「峯楽」で総会を開いた。

出席者十数名、大正、昭和にかけての同学の士だけに威勢のいい集いであった。

開会にあたり、松浪支部長のあいさつ、次いで役員改選となり、選考委員を選び、選考の結果、左記のとおり役員を選任した。

支部長　松浪庄吉氏
副支部長　入江勇氏、藤田春雄氏、永井芳一氏
幹事長　横山正一氏
副幹事長　道浦一衛氏、田端昭雄氏

その後、一同、思い出での学窓三十余年の歩みを偲び、現在の隆盛を祝って心から歓をつくし、学歌を斉唱、母校と支部の一層の発展を祝って、次会の再会を約して散会した。

東淀川支部

千里山（教育会館）で総会
大阪の夜景を満喫

東淀川支部第三回総会は、六月十二日午後五時から、千里山外苑の樹々のみどりに囲まれた教育会館二階の第二会議室で開催、前夜に台風第三号の通過したあと、雲一点のない快晴にめぐまれて、随時、学内を見学し、常議員・岩城富子さん（昭28学二英）ら女子校友もまじえて十数名が集まった。

当日は、大西久男氏（昭26学一経）の会計報告にはじまり、支部設立の労をになった宮崎平氏（常議員・昭25学一政）が組織部の状況を説明、次いで、矢野文雄支部長（本学常務監事）が支部長としてあいさつ、同時に、大学の現況報告を行なった。そのあと、自己紹介があって開宴、暮れていく大阪の夜景を見下ろしながら納涼の気分を満喫させるものがあった。

福岡支部

卒業生の就職に協力を
昇地三郎氏ら二十名

校友会福岡支部春季総会は、風薫る五月二十八日午後六時から、福岡市春吉五番町の料亭『松幸』で開催、しいのみ学園園長・昇地三郎氏（旧姓山本、昭12大法）をはじめ、高瀬卓一氏（九州郵船営業部長、昭16大経）釘崎春義氏（九州サービスセンター常務、昭19大法）ら二十名近くが集まった。

当日は自己紹介の後、清原支部長（旭燃料工業調査役、大14専法）の支部経過報告が行なわれた。さらに、卒業生の就職あっ旋等の依頼があり、今後とも、より一層の親睦を深めることを約して、九時過ぎ、母校の発展を祝し開散した。

西宮支部

これからは活発に
大学のPR映画に好評

西宮支部では四年ぶりの総会をさる七月八日午後六時から市内労働会館で開催した。

宮崎氏が司会して始められ、雑告支部長のあいさつがあったのち来賓・神宮理事長、大月校友会長があいさつ、西村理事が大学の現況を報告した。

また、役員改選は、支部の活発化をはかるため若い層に進出してもらおうということになり、選考委員で後日協議し、機関紙「関大」紙上をかりて発表しょうということになった。そして選考委員には向井、村上、宮崎、塚田、佐藤、竹谷、菊久池の七氏が選ばれた。

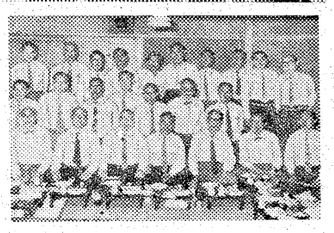
議事を終ってから各自自己紹介をして懇親会を開き、なごやかに話しあった。

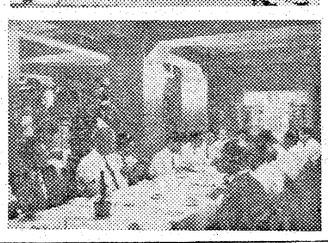
なおこの総会に先立ってこんど新しくできた大学のPR映画『大阪の章』が支部総会の席上としてはじめて上映され好評をよんだ。

三氏の栄転祝賀会共催

神戸関大倶楽部
神戸市役所関大倶楽部

神戸関大倶楽部では五月に神戸弁護士会会長に当選された本田由雄氏ら四氏の栄転祝賀歓迎会を催したが、六月十日は、先般、神戸市役所の異動が行なわれた際、神戸市選挙管理委員会事務局長に藤原忠氏（昭11専二法）、神戸市教育委員会指導部長に吉野正行氏（臨





上から神戸関大倶楽部の栄転祝賀会、昭三会、宝塚支部の総会風景

会と催し

全員で家庭劇観賞
―農林省大阪食糧事務所関大会―

農林省大阪食糧事務所関大会では六月二十五日、土曜日の午後を利用して、大阪・中座の家庭劇に観劇会を催し、全員が出席した。

関西の喜劇会を代表する渋谷天外、藤山寛美等の「青宮」などに平素の仕事のかた苦しさから解放されて、心ゆくまでなごやかな笑いに半日をたのしんだ。

終ってから、心斎橋・東天閣で一同、懇親会を開き、九時過ぎ散会した。

7月16日　関港会（大阪府立港高校卒生関大会）では、金本朝一氏（港高校教諭・校友会常議員）を顧問に、午後六時から同校で設立総会を開く。
7月17日　枚方支部総会が午後五時から枚方温泉で開催される。
7月20日　南支部総会を、午後五時半から、大阪・戎橋のキリン会館で開く。
7月24日　富山支部総会が午後二時からシャープ電気富山支店集会室で開催される。

日本ところどころ
唄をたずねて
藤本浩一

丹後の海

温泉の町・城の崎の短かい夏の夜がまだ明けやらぬうす暗い川に「さらッ」というような水音がするが、のぞいてみると元の静寂にかえって岸を洗うかすかな流れの音がきこえるだけである。川魚の跳ねる音であろうか、また別のところで「さらり」と音がする。しだれ柳の葉かくれに螢光灯がぼんやりと光っている町であった。城の崎を出て豊岡から宮津線にのりかえると間もなくトンネルをこえて丹後路に入り、朝日さす久美浜湾を半周して神野という小さい駅に着く。湾といっても三百尺の川で日本海につながっているのであるから湖という方が正しいようだ。水辺の樹木や家も湖畔という感じである。

神野の駅から五分ばかり歩くと、蔓野という小さい部落があるが、その後方一帯は見わたすかぎり桃の林になっている。起伏する砂丘を貫いている一条の小径が桃林の下につづいているが、花の季節にはどんなに清らかな桃源境となるであろうか。路の上にも、傍らの畑にも、もう熟しかけた桃の実がころころ転がり落ちているがひろうこもないのか、くさりかけたものもある。桃の実の林の中をわけていく長い長い小みちがいつの間にか不毛の砂原へ出た。地図によると東西八㌔、はば一㌔の大砂丘である。ほとんど直線にのびている落には日本海の浪が大きくうねりながら白いしぶきをあげているが、見えるかぎり家もなければ人かげもなく、もっ不気味は高いのに、日の光さえフィルターをとうしたように、しずんださびしい風景である。

この一帯、箱石浜という。いつかの時代に人間の棲息していた痕跡を残している。砂を深く掘り下げていくと、唐銭、鉄器、銅器、石器など時代別に層をなして埋没しているといわれている。砂や吹雪の永い重圧に人間たちが敗退したあとは草さえ生えないまま空白の浜となり、今は一本だけ高い石の記念碑が無表情に天を指す。その空白はあまりに広く、あまりにかなしい色である。

箱石浜を縦走すると丹後木津という温泉のある駅へ出る。それから次の網野駅へ下りてひょうたん山という古墳の下を通り、網野の町を左に見てまだトントンバタリの手機を織っている家などのある部落を一、三通りぬけると海岸になり、鉄道とはもうずっと遠くなっている。砂浜ではなくて厳しい断崖にはばまれた東涙がまひるの太陽の下で遠くの方まで白く美しく光かっている。網野から十二㌔あまり歩いて行きつく果ては間人（たいざ）という町である。町の名も面白いし、地図を見ると丹後の北端の町である地形にも興味があってはるばる訪ねてみたのである。

町の突端に小さい島があり、城島という。五米ほどの橋で渡れる玩具のような島で頂に小さい祠とベンチ二つ置けるくらいの広場があり、ちょっと高いので眺望がよい。島へ渡る海水が速い流れとなっている。橋の上からダイビングしていく子供たちに驚かされながら、遠く逃げもしないで遊泳している魚族も鮮やかに見えている。油臭いドラムかんが転がっていたり、小型の発動機船も居るには居るが、ちょっとそれから目を外らすと、そこには二千年前の生活がそのまま見えているようでもある。二つの湾をかかえるようにS字形になった間人の町を通りぬけて三㌔ほど歩くと竹野という村になる。道路からとろとろ坂を下ったところに一つの井戸を囲んで二十戸くらいかたまっている漁村である。この村にも、村はずれの岬に、島のように孤立した小さい山があってそのかげに二坪ばかりの堀立小屋を作って住んでいる老人があった。村で二度も火事を出したので恐ろしくなり、妻に死別して以来孤独の余生をここで送っているという老人であったが、悠々自適というような明るさもなく、孤独を悲しむ様子もなく、淡々としたまなざしで見知らぬ旅人に渋茶をすすめながら、村の生活を語るのであった。このあたり、天の橋立から真北に当り、回れば千里の海岸線は断崖が多くて船がなくては通れぬところが多い。

「あの鼻にはどんなひどいの時でも冷水が湧き出す霊泉があって、舟乗り達が昔からわざわざその水を飲みに漕ぎよせるところです」と指すところは経ケ岬近くで、陸路は絶えてないということであった。

（写真は間人をのぞむ）

女子校友登場 ⑰

愛称はノンちゃん

村上伸子さん
高島屋紳士靴下売場

今月は十七人目、30年に短期大学部をでた村山伸子さん（こと）をご紹介しよう。

電話でインタビューのご依頼をして日と時間と場所をきめたが時計のように正確にやってこられた。誠実な方のようである。

在学中は野崎さん、お名前も伸子さんというところからいつのまにか「ノンちゃん」という愛称がついた。この愛称の因―加えてのんびりしたところもあるようにお見つけした。

ところでこのノンちゃん、中学高校とも同志社の出身でつとめるかたわらのようにどころを求めるつもりで短大に入学した。同志社の空気から関大にはそういう特異な雰囲気がなくて残念ですわ、卒業されて社会へでられてもあまり目立ちませんね。」

とおっしゃる。ノンちゃんのおつとめはもう古い方で、すでに五年になる。売場で、買う人の好むガラを見ると「はは―ん、これは関学さんだな」とわかるいますね。一言でいうと関学はハデ、同志社はシックとでもいうんでしょうか。でも関大にはそういう特異な雰囲気がなくて残念ですわ、卒業されて社会へでられてもあまり目立ちませんね。」

とおっしゃる。ノンちゃんのおつとめはもう古い方で、すでに五年になる。売場で、買う人の好むガラを見ると「はは―ん、これは関学さんだな」とわかるとおっしゃる。関大には学風がないとよくいわれるが、考えさせられる言葉である。「大学生活は目に見えない点でいろいろ役に立っていますでしょうね。バクゼンとして具体的にはいえませんけど…。大学は専門の学術を身につける以外に、教養をつける意味からも意義はあると思いますワ」新制大学の目的は全くノンちゃんのおっしゃるとおりだ。ノンちゃんのご主人は同じく同志社大学

院の出身で母校の講師もつとめられた由。ある教会牧師の紹介でご結婚されたが、ノンちゃんの方は、うかがうところどうやら無神論者のようだ。バイブルにある奇跡がどうも信じられないという。将来の生活設計をきくと「よき妻、よき母…もちろんですけど、何か自分で身につけたいですね」と答えた。関大生に望むことは？「求めよ、さらば与えられん」というとおり、やはり意欲的に勉強してほしいと思います。関大生はちょっとのんびりしてますね。もちろん私ものんびり屋だけどグラフ…。本をできるだけ多くよむことも、いいんじゃないかしら」

とおっしゃる。「お店でお客さまに応対するのはなれましたけど、こんな口答試問みたいなのは苦手ですの。はずかしくて」と手で顔をかくしておられたが、終始にこやかにのびのびと話して下さった。美しい表情の持ち主である。というと「ではノ」とノンちゃんのお顔を見にゆく〝野崎まいり〟希望の諸氏もあるかも知れんのでこせめて靴下も買ってあげて下さいッ〟と記者のノンちゃんへの老婆心。そこで紳士がたのご参考としてノンちゃんに聞いた今年の流行をお知らせしておこう。

「生地は純化繊が少なくなり、麻、絹、綿の混紡が多くなりました。一時は原色のハデなものがはやりましたが、最近は若い方もしぶい好みになったようですネ」ということだ。

村山伸子さん（旧姓・野崎）は昭和7年生れ、静岡県の出身。高校卒業後、28年に関大短期大学部二部に進んだ。旧姓社にはいりそこから高島屋へうつり現在紳士靴下売場にいる。愛称は学校時代から「ノンちゃん」。30年卒業。現在は住吉区南住吉町四ノ五〇に三省堂へつとめるご主人と二人暮し。お母さんと兄弟は静岡におられる。

校友会費をご納入下さい

暑中、お見舞い申しあげます。機関紙「関大」も創刊以来すでに五年余をかぞえ、その間、母校の現況を報道するとともに、校友会機関紙としての役目をはたしてまいりました。母校も今年で創立七十五年を迎え、校友数もすでに六万五千名に達しております。校友会もこの多数の校友の力を得まして支部も大阪府内全行政区にも強固な組織をつくり、講演会その他の活動でも大きい成果をあげております。

さらに、今後の発展のため、校友各位には本年度会費をご納入の程お願い申しあげます。会費は現在年会費制と終身会費制の二本立てになっております。

年会費　三〇〇円
終身会費　三、〇〇〇円

お払いこみにお手数のはぶける終身会費制をお願い出来れば幸いです。現在、大阪市内および近郊都市には本部から集金係員をさしむけておりますから、その節はよろしくお願い申しあげます。係員は次の通りです。

広告係員　山元文雄
集金係員　佐々木弥生、亜水富子、寺田文枝、熊谷静子、高木欽子

昭和二十五年七月十五日

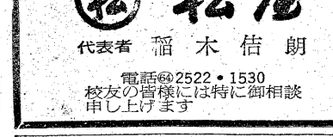
関西大学校友会

白髪に童顔を回顧

昔のおかみさんを囲んで

昭和四年、大学部卒業者（一〇二名）で組織している尚志会では、第二十三回総会を四月三日千里山外苑教育会館で開催した。

当日は、吹田市川喜多助役、本学山口教授、帝国カーボン紙北原社長ら十余名が出席。折から満開の桜花をながめながら、つきせぬ懐古談に酒もよくまわり、童顔になったところで直立不動し、全員学歌を大唱して遅く春を惜んだ。二次会は大学正門前の「まるみ屋食堂」で、今は既に白髪の老髪となっている当時の若いおかみさんを囲み、一杯十五銭のかやくめしを出せと、一昔前の思い出をしのびながら再会を約して散会した。



小寺小市郎氏を再選

―昭三会総会―

昭和三年度専門部の卒業生で組織している昭三会では、昭和三十五年度総会を、六月二十四日午後五時半から、大阪・北区の『伊勢屋』で開催した。

当日は二十四名が出席、伊東太平氏の司会で議事はすすめられ、小寺幹事代表のあいさつがあって役員選出の件に入り、満場一致で小寺小市郎氏が昭三会代表に選任した。

会館の建設はいつ？

校友のこえ　波

「校友会館」の建設が、校友会組織の活発さとあいまって、常に私達同輩のあいだで話題にのぼるのであるが、機関紙「関大」からは一向にその具体案なるものの記事を読んだことがない。

先月、会館建設費用にあてがうという終身会費を納めたが、一体、どうなっているものなのか。誰れもが一番に期待している校友会館であるだけに、はやく、その具体案を紹介してほしいものである。

（南区・H生）

立日

朝日生命里山会
総会をみつけて

大玉火薬
取締役社長　中山幸市

グラスライニング　ステンレス　化学機械設計製作
岡田琺瑯株式会社
大阪市北区富田町41
電話（34）2128・6773

パラマウント硝子製硝子繊維製品
日東紡績（株）製　ロックウール
横浜ゴム（株）製　接着剤ハマタイト
三井化学（株）製ハイゼックス中空成型
日本冷蔵（株）製イソフレックス製品
積水スポンジ（株）製セキスイフォーム
代理・特約店
大同硝子興業株式会社
大阪市北区（堂ビル八階）
電話（36）3161・9784（代）1141

大島特許事務所
所主　弁理士　大島武夫
弁理士　大島一公
大阪市北区宗是町一ノ一〇・中之島ビル
電話㊱一一〇〇・〇〇五八・〇〇五九番
自宅　茨木市東宮元町五三番地
電話茨木（〇二六二）四二四九番

松屋
貸衣裳
花嫁衣裳モーニング
洋装・訪問着等
大阪市南区日本橋2丁目電停南側
松屋
代表者　稲木佳朗
電話㊱2522・1530
校友の皆様には特に御相談申し上げます

特許・商標・出願全般・侵害事件
八尾商工会議所嘱託
泉大津商工会議所嘱託
泉佐野商工会議所嘱託
鈴木特許事務所
所長　弁理士　法学士　鈴木武夫
副所長　弁理士　藤原忠治
大阪市阿倍野区松崎町一ノ三〇（アベノ近鉄百貨店南角東へ半丁）
電話大阪㊲三七九五・四〇九六

造作工事、　和洋建具工事
築柴木材工業株式会社
本店　京都市中京区西ノ小倉町10
電話【84】8664・1667・8419
支店　大阪市東区横堀6丁目8―1
電話（25）0277・1569

双葉水産皮革株式会社
吉本保
大阪市浪速区大国町1の134
電話代（63）0692番

あなたは
いつも御家族と御一緒にいられる
もしものとき
いつでも
御家族の収入を保障する……
「朝日」の　家族収入保険　です
朝日生命

うふぎ
渡辺格　竹葉亭
大阪市北区堂島浜通一丁目
電話㊹一八六九番

恒例の文化祭ひらく

6月18・19日産経会館で

校友も多数集まる

秋の大学祭とともに学生の全学あげてのお祭り―文化祭―が今年も六月十八・九の両日にわたって大阪桜橋・産経会館で開かれた。学生をはじめOB、家族、友人らも混じり盛大でなごやかな文化祭であった。

ソナの間奏曲第一番など一般によく親しまれている曲を演奏し午前一の部は一時三十時終了した。

◆…午後になると学生をはじめ校友、父兄家族や友人等、観客席もぎっしり埋まり、放送研究会のステージショーで午後の部が開幕した。

◆…グリークラブは故岩崎教授の逝去をいたみ追悼歌を数曲うたったあと、楽しきさらいの人、乾杯の歌、黒人霊歌などをひろうした。

◆…軽音楽部に舞台がかわり、デイキシーランド・バンド、ハワイアン・バンド、ウエスタン・バンド、スイング・バンド…と順に妙技を競いあった。時代の流れとはいえ、拍手も一きわ高かった。

◆…体育がコロッと変って軽音のあとは本学が誇る応援団吹奏楽部の演奏にうつった。

演出も一考のあとがうかがわれ、とりたててのべるほどではないが合唱も混ぜバラエティ豊かな演奏であった。有名なマーチや民謡、子守歌など奏し、満場歌で幕となった。

翌十九日も休日同じ順で進められたが、この日はちょうど日曜でもあり、遠くからやってきたOB、校友連も旧友と席を同じくして文化祭をたのしんだ。

写真は文化祭で写す―写真部提供

◇…まず第一日目、十八日は午前九時に副委員長の開会の辞にはじまり、ピカソの作画法を説明した仏映画「天才の秘密」を上映。天才ピカソの画く創造の神秘を映画的に捕らえた〝絵のスリラー〟ともいえる不気味なムードのただよった映画を鑑賞した。

◇映画についてユネスコ研究部が「ユネスコの本質」をテーマに講演し、「戦争は人の心の中で生れるものだ。人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」ことを説いた。

◇…そのあと午前は能楽、邦楽、茶道部の御点前…と純日本調のひろうがあり、昼には矢口学長、神宅理事長、石井教育後援会会長、大月校友会長、安東学友会委員長がそれぞれあいさつした。

◇…あいさつのあと吟詩部が社前の「春望」、李白の「峨眉山月」などを吟じ、交響楽団が歌劇マドグリークラブも文化祭以外の場などでよく聞いたが、どうもレパートリーが少々せまいようだ。もっとレパートリーをひろげる意欲を示してほしいところだ。

す。軽音楽部はディキシーランド・バンド、ウエスタン、ハワイアン…といろいろ種類がある。

校友の見た 今年の文化祭

Aさんの感想　毎年、盛大になって行く文化祭を見るのは楽しいことだ。演出、進行にもバラエティが感じられ、苦心のあとがよくうかがえる。観衆も昨年よりはだいぶ品がよくなったが、司会などもっと勉強すべきだった。

Bさんの感想　一つ一つについて私なりの感想をのべてみよう。

交響楽団は一寸練習不足のうえによい指揮者がほしいところだようですが、どうも軽音楽にあまり時間をとりすぎているようです。軽音楽も流行なら、写真なども流行でしょう。写真部は展覧だけしていましたが有名な写真家か美術批評家など呼んで写真に関する講演などをはさめばもっと「大学の文化祭」らしくなったと思う。二時間半にわたるバンドを聞いたが大学生としての理知のひらめきが何ら感じられないのは残念だった。その点ブラスバンドは好感がもてた。もう一つ、とてもうまい司会者が一人いたことをつけ加える。

Cさんの感想　書、写真などを拝見しましたが、美術部の展覧場をみてビックリした。すべての絵の下に「なんで賞」「わからんで賞」「へたで賞」「どうしま賞」…など金、銀のフダがついている。これは一体なにを意味するのか考えたが、へたな絵しか書けないことのテレかくしか？学生としてもっとまじめな態度を示すべきではなかった。まじめなよい絵もなかったわけではないがこれではまじめに観賞しようとする態度はもてない。見る人を恥辱するといえば過言だろうか。

Dさんの感想　昨年のものにつづいてプログラムは豪華なものになった。デザイン構成も同じく藤村さんだが、今年のは本文中の担当部名がちょっと見にくい、広告のおきかた、表紙感のじなど昨年の方がよかったと思います私は記念に保存していますが、やはり昨年のような大きさのものがほしかったと思う。

スポーツ

市口（グレコ・バンタム）、ローマ行き確実

代表決定はきたる18日

レスリング

今夏行なわれるローマ・オリンピックに出場するレスリング代表を決める代表選考最終予選が東京都台東体育館で行なわれ、関大の市口選手はグレコローマンバンタム級で5勝1分の好成績をあげて優勝、ローマ行きがほとんど確実ではないかと見られるにいたった。しかし、国際試合の経験が豊かな吉田選手も下馬評たかく、十八日山形で代表が発表されるが、経験豊かな吉田か、5勝をあげて優勝した市口か注目されている。またグレコヘビ級の重岡選手（関大OB）は三引き分けに終ったが、市口とともに最終候補にあげられている。

ローマ五輪レスリング最終予選は七月一日から東京都台東体育館で開かれた。

グレコローマンバンタム級で出場の関大の市口政光選手は一回戦で強豪・中大出の榊原に対して最初のスタンドでポイントを奪って勝利をおさめ幸先よいスタートを切った。つづく二回戦は日体大出の岡崎に不戦勝、四回戦に進んで早大利選手と対戦、ここでも最初の立ち技でポイントをあげ判定勝ににげきった。四日目の五回戦には日大大谷選手が棄権したため4勝無敗でトップにたち五日目の六回戦で日体大の桜間選手と対戦のすえ判定にくだし5勝をあげ、六日の最終日七回戦にのぞんだ。

最終戦、市口選手は中大出吉田選手と対戦、ただしゃにむに頭で押すだけの吉田と引き分けた。これで予選全戦を終了し市口政光選手は5勝1引き分けの好成績をあげてバンタム級で優勝した。

ローマ派遣代表はきたる十八日山形で発表される予定であるがグレコローマン・バンタム級は非常に各選手の実力が接近しているためだれが代表に選ばれるか発表を見るまでわからないがやはり5勝をあげた市口選手の実績がかわれるのではないかと見られている。

なお、この最終予選にグレコヘビー級に関大OBの重岡選手も出場したが一回戦に明治大の杉山と引き分け、二回戦でも法政大の大塚選手と引き分け、三回戦もまた明治出の丸山選手と引き分けて3分の結果に終った。

市口選手は昭和15年生れ、二〇歳。大阪の生れで浪速高校を卒業して関大へ進む。現在文学部三年次。高校一年で柔道初段となる。昨年の関西選手権で優勝。最終予選で優勝して帰学し、再び上京するという七日、市口選手をお宅に訪ねていろいろきいてみた。

―五勝一分の好成績をあげられたが、最終予選でのもようを…

市口　全身を最高潮にもって行くようにしました。いまは59㌔ぐらいの体重です。六人の相手の中ではやはり吉田さんが一番手こわかった。国際試合の経験もあるし……。

―ところで市口選手のレスリング歴は？

市口　高校時代は柔道をやっていましたが、大学に進んで以来、レスリングをやるようになりました。

―練習法は？

市口　全身の力を使う非常に疲れるスポーツです。だから練習もはげしく、とくにグレコは首を強くすることが必要で、そのために70㌔のマットを練習に使います。

―日本のレスリングのレベルはどんなものですか。

市口　やはりトルコ、ソ連など強いが、日本もフリーは相当いけるでしょう。グレコはやはりソ連が強いですね。

―今後の予定は？

市口　今晩（七日）上京し、いろいろの手続きをしたうえ11日から合宿にはいり18日まで続き、この日に代表がきまりその後の日程がたちます。

―しっかりがんばって下さい。

市口　ありがとうございます。

役者ぞろいの懇親会

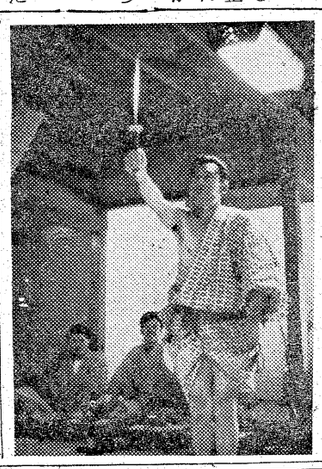
オール関大応援団懇親会

珍芸きそって飛び出す

OB・現役をあわせたオール関西応援団の懇親会が六月二十六日午後二時から京都の栗田山荘で約六十名近くが集って開かれた。矢口学長、矢野体育OB会長、榎本、高木両教授らも出席し盛大に開かれた。

朝日テレビ放送演出部長の吉田三七雄氏、浪商事務長の片岡恒次郎氏、代議士の原田憲氏ら往年の応援団名物男が集った。世話人片岡恒次郎氏の開会のあいさつで始まり矢口学長のあいさつ、矢野体育OB会長のあいさつがあったのち高木博士の学位取得に対する祝辞などつづき、すぐに懇親宴に移った。なにしろ、この会の出席者はなかなかの役者ぞろいで、アルコールがまわりだしたころにはわれもわれもと珍芸、妙芸をきそいあった。トップは全関大の名物ともいうべき片岡氏の「鯉名の銀平おどり」、ついで矢野、高木両氏が徳島県出身であることから両人の阿波踊りや、吉田三七雄氏の腹芸など珍妙な芸がとびだし一同腹をかかえて大笑い。まったく時のたつのも忘れてこの〝珍芸競演会〟をたのしんだ。

またこの日は京都支部から岩佐、中野正副支部長があいさつにビールをもって出席し、親しく語りあった。夕刻まで歓をつくしたこの会も、最後に一同静粛に学歌を斉唱し、母校の発展と関大スポーツの向上を祈って散会した。（写真右＝矢野・高木両氏の阿波踊り、左＝片岡氏の鯉名の銀平おどり）



個人戦川上が連勝

第六回全日本学生剣道

第六回全日本学生剣道個人戦が六月二十六日午前八時半から千駄ケ谷の東京体育館で行なわれた。昨年の優勝者関大の川上選手（五段）が今年も優勝をとげた。また東西対抗優秀選手にも選ばれた。

個人戦

▽準々決勝
川上コ、メー（関大）　坂本（北海学園大）
矢木メ、メー　村上（中京大）　大家（甲南大）　田口（熊本商大）

▽準決勝
住上メ、メーメ　矢木（日大）
恵土コ、メー　大家（延長二回）国士館大）

▽決勝戦
川上メー時間切れ　恵土（国士館大）

コタツ？いや今は違う

税務官署の巻

大阪国税局秀麗会は四百人

職域めぐり

「職域めぐり」も回を重ねることに「あれ！こんなところにまでこんなに多くの校友が…」と、いまさらのように七十五年の年月をかけて張られた歴史の根深かさにおどろいておられることだろう。

今月はどうも市民には敬遠されがちな国税畠につとめる校友をご紹介しよう。題して〝ゼイキン屋さんの巻〟―。

いま大阪国税局とその管内にある大阪府、京都府の二府と和歌山奈良、滋賀、兵庫の四県下八十四税務署に勤務する校友あわせて四百名にのぼる。

これらの校友がよって大阪国税局秀麗会がある。これは母校創立七十周年記念を迎えた昭和三十一年に校友会組織の拡大運動の一環として生まれたもの。当時、大阪国税局調査査察部長をつとめていた吉田鹿之助氏（その後熊本国税局長歴任）がいて小規模な集会を開いていたがこの機会にと結成ふヒンとなるやつがある。いうまでもなく、ただの生一本というやつだ。

ところが前川署長はなかなかおカタイ方であり縁がなさそう。「世はままならぬものです」とは誰かの声。この前川氏を会長に秀麗会では度々懇親会をひらき会員相互の親睦をはかり母校と校友会の発展につくしている。この四百名という数は他校の校友数にくらべてまったくの〝絶対多数〟だ。

近ごろではこの会に刺戦されて他校出身者も続々と会をつくっているという〝絶対多数〟といえばこんどの異動で勇退された署長クラスが三人ある。和歌山署長をやめた中村右之助氏、須磨署長をやめた吉川義治氏、西宮署長をやめた梶野幸太郎氏の三人だ。今は前川氏をいれて署長五人と少しさびしくなった。安達（旭）早崎（左京）藤井（豊能）平岡（喜城）の各氏だ。

それでも現在の秀麗会役員はすべて役付職員でしめられているという持駒の豊富さだ。

ところがこれではいけないという声もないではない。

こんど役員を改選するときは気鋭の士が選出されるようにしようとの気運もあってなかなかたのもしい。会運営の悩みは商売柄どうしても異動がはげしく確実に動静をつかみにくい点だというが、この悩み解決のため以前から各部課をはかり、たがいに激励しあい、切磋琢磨研究を続けるもっとよい方法だ〟ということでめでたく誕生したわけ。

現在会長は前川太郎右門氏で局法人税課長から京都左京署長に栄転ののち、こんどの異動で西宮署長に転じた。西宮といえば左党には「西宮名物、酒、酒、酒」の三酒がある。

「外はつめたいがなかはあたたかい」

なるほどネ。

しかし税務官署事務の民主化によってだんだんその温度差が小さくなりつつあるといわれる。

民主的申告納税の浸透でそとからのつめたさも次第に落ちいてきているということらしい。

秀麗会は総会を年一回、役員会は三回ほどひらいている。秀麗会の目的達行もさることながら温度差をなくする方にも一つと努力を…という校友も多いんじゃないかナ。

なるほど、なるほど、なるほどだ。

しかしこれではまるでコタツのようなもんですね」

しかしこれでは意味がわからん。たずねるといわく―

「外はつめたいがなかはあたたかい」

なるほどネ。

しかし税務官署事務の民主化によってだんだんその温度差が小さくなりつつあるといわれる。

民主的申告納税の浸透でそとからのつめたさも次第に落ちいてきているということらしい。

秀麗会は総会を年一回、役員会は三回ほどひらいている。秀麗会の目的達行もさることながら温度差をなくする方にも一つと努力を…

夏休みの学生活動

千里山学舎は七月から夏休みにはいってひっそり閑としている。学生各会もいっせいに合宿だ、研究だ、調査だ…と〝夏休み活動〟にはいった。もうまっくろに焼けてはげしい強化合宿から帰ってきた部もある。また文化会各部は小豆島合宿が多くちょっとした小豆島ブームをまきおこしている。今月は体育文化その他各部の夏休みの活動をさぐってみよう。

運動部

運動各部はすでに合宿を終ったところもあるが、これからのスケジュールをのべるといろいろの選手権大会もつづいて行なわれるが、かわったところでは軟式野球部が夏期合宿として沖縄へ遠征する計画をたてている。

▼ラグビー部＝8月15日―30日夏期合宿（於伊丹市千僧陸上自衛隊）▼体操部＝8月25日―28日全日本学生体操競技選手権大会（於東京都立体育館）▼航空部＝夏期合宿（於諏訪市霧ケ峯）▼軟式庭球部＝7月20・21日西日本学生大学対抗戦▼22・23日西日本学生選手権大会▼24日西日本学生シングルス選手権大会（いずれも於神戸西代テニスコート）▼8月9・10日全日本学生大学対抗戦▼11日―13日全日本学生選手権大会（いずれも於伊勢市営コート）▼漕艇部＝7月20日―31日夏期合宿（於大津市瀬田川）▼7月17日大阪市民レガッタ▼関関定期戦（於桜の宮コース）▼7月29日関西学生ジュニアインターカレッジ選手権大会▼7月30・31日関西ボート選手権（いずれも於瀬田川）▼8月20・21日全日本ボート選手権大会（於神奈川県相模湖）▼ゴルフ部＝7月10日―17日夏期合宿（於片山津ゴルフ場）▼8月1日―3日関西学生大会決勝▼8月29日・30日全日本学生大会（場所未定）▼射撃部＝8月7日―15日夏期合宿（於松山市）▼8月21日―28日国体決勝（於大阪府警射撃場）▼弓道部＝8月20日―28日夏期合宿（於上田市営弘道場）▼7月21日―23日全日本学生弘道選手権大会（於東京都立体育館）▼ワンダーフォーゲル＝7月5日―18日夏期合宿（於北九州山岳地帯）▼陸上ホッケー部＝8月20日―30日夏期合宿（於松本市浅間温泉）▼陸上競技部＝7月16日中京大定期戦（於名古屋瑞穂競技場）▼バドミントン部＝8月5日―11日夏期合宿（於善通寺市）▼8月23日―28日全日本選手権大会（於藤沢市）▼バレーボール部＝7月19日―21日夏期合宿（於神戸王子公園バレーコート）▼7月26日法関バレーボール定期戦（於神戸YMCA体育館）▼7月28日―31日全日本バレーボール大会（於神戸王子公園バレーコート）▼野球部＝8月12日―21日夏期合宿（於長野県下諏訪球場）▼軟式野球部＝8月4日―12日夏期合宿沖縄遠征▼相撲部＝7月31日全国大学選抜宇佐大会（於大分県宇佐）▼8月14日全日本学生相撲東西対抗（於山代市）▼庭球部＝8月20日―27日関西選手権大会（於甲子園）▼9月5日―15日関西学生庭球選手権大会（於甲子園）▼山岳部＝7月12日―8月5日夏期合宿（於北アルプス）▼ハンドボール部＝7月13日全日本学生選手権大会（於駒沢競技場）▼馬術部＝7月17日大津白馬大会（於大津乗馬クラブ）

文化会

文化会各部は今夏は備にも汗を流している。また放送研究会は創立十周年を迎えるため十一月十日に毎日会館一階・日立ミュージックホールで放送祭を行なう準備も進めている。

【雄弁会】雄弁会では毎年、夏休みは地方遊説を宣ねているが、今年は東海、岐阜地方を中心に、七月中旬約十日間にわたって遊説にでかけている。これからの計画は、7月15日（午前）津島、津島女子、員弁各高校（午後）桑名、津島商工各高校（夜）桑名公民館でそれぞれ行ない、以後日程次の通り。

16日（午前）四日市高校、四日市農芸高校（午後）暁高校、四日市商工、海星高校（夜）四日市市公民館

19日（午前）名居農林高校、松坂高校（午後）松坂商高、松坂工高（夜）松坂市公民館

20日（午前）宇治山田高校、伊勢高校（午後）宇治山田商工高校、相可高校（夜）伊勢市公民館

18日（午前）津高校、津実業高校名張高校、上野高校（午後）津女子高校、津商業高校（夜）津市公民館

17日（夜）名張市公民館、上野市公民館

24日（於高野山学院）▼運記部＝8月3日―10日（於富山県高岡市）▼交響楽団＝7月17日演奏会（於小松市公会堂）

グリークラブ、囲碁部などすでに小豆島合宿をおえている。

文化会の変ったところではユネスコ研究部が今年は僻地教育の実態調査団を組織して石川県下に二班を派遣して合宿をかねた調査を七月初旬に行なっている。

▼邦楽部＝7月12日―18日（於小豆島）▼映画研究部＝8月17日―23日（於小豆島）▼レコード部＝7月8日―11日（於小豆島土庄）▼能楽部＝8月17日―24日（於岐阜県下呂温泉）▼珠算部＝8月27日―28日（於淡路島）▼書道部＝8月21日―24日（於高野山学院）▼運記部＝8月3日―10日（於富山県高岡市）▼交響楽団＝7月17日演奏会（於小松市公会堂）

【放送研究会】放送研究会は七月中、強化合宿を行ない、八月中旬まで続けるが、下旬には宮城県へ合宿をかねて漁村のマス・メディアを調査研究にでかける。また九月にはいると関西学生放送連盟の主催で録音構成コンクールが行なわれるがその準備にも汗を流している。

富士印高級模紙・富士印高級小間紙富士印高級雲竜紙・富士印糸入大高模紙・富士印新紗織紙・郡星紙・星光紙
製造発売元
株式会社 内貴紙工所
天下茶屋局区内
大阪市西成区姫松通四丁目三十五番地
電話 大阪 ㊸ 代表 〜 ㊸ 〜 ㊸ 〜 五番 六番

株式会社 クニタ洋服店
国田栄一
大阪市北区堂島北町六ノ六
毎日ホール前
電話 ㊹ 五五六九番

真空装置のトップメーカー
真空ポンプ
真空治金装置
真空化学装置
日本真空技術株式会社
大阪支店・北区梅田町7（梅田ビル）
電話 ㊱ 6951〜3

専売特許薬液注入土壌硬化
ウカ式防水工事（セメント防水剤）
グラウチング防水工事
グナイト防水工事
セメント防水急結液製造元
株式会社 大阪防水建設社
大阪市天王寺区餌差町四二
電話 ㊸ 二五九五番

ウイン・コーラ
南国の秘果
美と健康の
果油飲料
株式会社 日米通商公社大阪支店
大阪市北区曽根崎中一丁目五七
電話 ㊹ 5907・㊱ 5845

古き厂史と斬新な技術を誇る大鉄製品
スチールサッシュ
スチールドアー
スチールシャッター
営業品目
ステンレス製品
美術金物
金庫・金庫室扉
設計 製作 取付
株式会社 大阪鉄工所
取締役社長 富田豊松
大阪市西区本田町一丁目四四番地
電話 大阪 ㊸ 1254・4615
㊹ 0910・0919

10,000台突破 抽籤券付 記念セール
期間 7月8月9月
コニー360
軽免許で乗れる（商用＋乗用車）
特賞100万円
1等コニー360ライトバン 10本
2等エルモ8ミリ撮影機 20本
東部チャイアント株式会社　市内天王寺区下味原町94　電㊸ 4694・4889
西部チャイアント販売所　市内西区江戸堀下通5丁目39　電㊹ 4407・8625
南部チャイアント販売所　市内西区松島町1丁目54　電㊸ 8910
北部チャイアント販売所　市内都島区高倉町3丁目14　電㊸ 1972・1936
堺チャイアント販売所　堺市南綾瀬3丁目66の2　電㊷ 1124
泉州チャイアント株式会社　泉佐野市六宮町5086　電（泉佐野）1030〜1
大阪ポインター株式会社　市内東区京橋3丁目68　電㊹ 代 3057
大阪府下販売店
関西自動車工業株式会社　市内東淀川区十三西之町3の7　電㊲ 1733
三登自動車株式会社　市内生野区猪飼野東6丁目15　電㊸代 5037・7721
（株）丸毛自動車　市内大淀区大仁元町1の15　電㊺ 0773
池田軽自販株式会社　市内天王寺区逢阪上の町　電㊼ 0862・3831
（株）丸福商会　吹田市旭町1008　電㊾ 1612
（有）三恭商会　市内東成区南中道町2の23　電㊽ 2166
（株）大晃自動車商会　市内西区北堀江御池通2の93　電 代㊹8415
大阪チャイアント株式会社　大阪市福島区下福島5の18　電話（46）代 5851

株式会社 竹中工務店
取締役社長 竹中錬一
本店 大阪市北区堂島中二丁目三〇
電話・大阪（312）代表1251番
営業所 札幌・仙台・東京・横浜・静岡・名古屋・京都・神戸・岡山・高松・広島・福岡・八幡

学芸

カット・榊山勝

故岩崎博士を偲ぶ

大学葬も盛大に行なわれたが、博士の生涯をかえりみる時、今さらながら、その偉大さが思い知らされてくる。み霊よ安らかに！ご冥福をお祈りしながら、同窓であった中井弥六氏に博士の若き日のエピソードを、大学側の立場から森川太郎教授にそれぞれの思い出を偲んでいただいた。

岩崎君の死を悼む

―なつかしい『大ぶろしき』のヤジ―

同窓・中井弥六

さる六月七日、故岩崎卯一博士が逝去されて、はやひと月余り、六月三十日には

大正二年、関西大学の法律科二年の時であった。当時はお互いに政治家を夢みていた頃である。岩崎君が二十四、僕が二十二歳、若い元気一杯の時分である。

当時、朝鮮二コ師団増設問題で憲政会と政友会とが争って議会が解散された。総理大臣は大隈伯爵で老後最後のご奉公というので早稲田大学の関係者が大隈伯後援会を組織して全国の同志も応援していた。この会の公認で立候補する人が相当あった。大阪市で金沢という早大出身の人がこの後援会の公認で立候補した。

土佐堀の青年会館で金沢氏の演説会があるので、これを聴くべく岩崎君と行ったものだ。

丁度、早大の青柳教授という貴公子然とした四十代の弁士が演説をはじめたところであった。青柳教授が大隈伯と政友会総裁の原敬氏とを比較して名調子を挙げた。

「世界の東から西から南から北から日本を訪う世界の名士にして早稲田の森に大隈伯を訪ってその名論卓説を聞く人が何人ありましょうか。さらに諸君、世界の東から西から、南から、北から日本を訪う世界の名士にして芝公園に原敬氏を訪ってその名論卓説を聞く人が何人ありましょうか。かたや大隈伯、かたや原敬氏…」これには会場しんとして酔わされた形であった。

この演説は岩崎君よほど感めいしたとみえて、あとあとまでこの調子をまねてよくやったものだ。

ところがあとがいけない。候補者が出て演説しはじめたが、金属性のキイキイ声でいかにもお粗末なので二人でヤジりだした。二言三言めには二人が交互にヤジをとばした。候補者もこのヤジに負けてはならないと、いよいよキイキイで大声を発して大隈伯のまねをしてひとかどの大政治家らしいみえを切ったとき、岩崎君が大声一番「大ぶろしき」とやったものだ。これには候補者が絶句して遂に演説を続けることが出来ないので引込んでしまった。この当時は政談演説会でヤジっても別に禁止するような規則はなかった。二人は得意然として、しかし、長居は禁物早々に演説会場を出て土佐堀川の風に吹かれてこう奮をきましたものだ。随分無茶をしたもので、今思えば冷汗ものだ。

大正三年、岩崎君が二年のとき弁護士試験を受けるために準備をはじめた。彼は神戸から通学していたが、勉強はほとんど通学中の電車の中であった。週一回一科目について僕から試験問題を送って、それを二時間で書いて送り返してきた。僕の方は著書を調べて採点したものだ。

いよいよ受験のため上京する際、大阪駅に彼を送った。そのとき関大の先輩で三回位試験を受けている人と同車した。この校友は非常によく出来る人であったが、岩崎君が在学中に受験するというのでむしろ冷笑していたところが、岩崎君が見事に及第して、この校友はどうしたことかまた落第した。岩崎君が口述試験に上京して合格したが、病気になって東京の下宿で病床についてしまった。翌十一月あまり長くなるので神戸の県立病院に入院して療養することになった。この話を神宅君（本学理事長）にすると、僕も一緒に行く、ということになった。このときはうれしかった。神宅君と同道して上京、岩崎君を迎えて神戸に帰った。このときは岩崎君も喜んでくれた。

次は僕の受験だった。大正四年夏上京するので、岩崎君が東京まで送ってくれて朝下宿に着いた。二人で外出して遊んで夕方帰った。丁度、僕の荷物が着いていた。本が一杯入っている行李で重かった。二階の部屋へ二人で持って上った。二人とも疲れていたので、階段の途中で上と下とで見合って

にっこり笑ったものだ。そのときのことが今でも眼に浮ぶ。

僕の受験準備中の三カ月間、週一回、答案の問題を送ってくれた。この問題、岩崎君特有の試験問題集を研究し、統計をとって今年出そうな問題を送ってくれた。僕の送る答案には採点し折返し送ってくれた。この激励と厚意ある援助にもかかわらず僕はその年は落第してしまった。

生前、岩崎君とは後に残ったものが先に亡くなったものの葬儀万端後始末をする約束であった。君が遂におしまれつつ六十八年の生涯を閉じた。約束によって葬儀は多数の方々のご援助で済ますことが出来た。しかし、行届かないところもあっただろう、不満であったらいうてくれ給え。注文があったらいうてくれ給え。僕の寝枕に立っていうてくれ給え。ご冥福を祈る。

長老としてまだまだ活躍してほしかった

経済学部教授・森川太郎

巨星墜つ！。そんな言葉のぴったりとあてはまる程、このたびの岩崎先生の死は、わたくし個人にとっても、大学にとっても、まことにショッキングな出来事でした。日頃の先生の健康からいって、こんなにはやく逝くなられるとは思われなかっただけに、学の内外をとわず、長老として、特に発展の過程にある関西大学にとっては、まだまだ活躍していただかねばならない大切な人として痛恨にたえません。

今になっては、五月二十八日、それが最後でした。先生が入院中面会謝絶のところをたまたまお会いすることが出来て、先生が自分の病いにやや神経質気味になられていられるのに、「気を強くもって下さいよ」とはげますと、笑ってうなずかれたが、その時の笑顔がはっきりと思い出されてきます。

わたくしが岩崎先生を知るようになったのは、まだ学生の時、丁度先生がアメリカから帰国され、本学の教授になられた時でした。当時は教授と学生とのへだたりがあって、ただ先生の名前を耳にするだけでしたが、個人的に先生を知るようになりましたのは、戦争中に、先生が図書館長を勧めておられ、そのあと、わたくしが就任してからです。

しかし、なんといっても一番印象に残っているのは、先生の学長時代に経済学部長を二期も勤めさせていただいたことです。この時ほど任事がやりやすかったことはありませんでした。勝手なことをさせてもらえるということではなく大きな意味での方針のもとに、こまかいことはまかせてもらえたということです。少々まちがったことでも大きな方針さえそむかなければ、こせこせしたことはめった に口にされたことはありませんでした。これ程、気持よく仕事が出来たということは、なによりの心よい思い出として残っております。と同時に、今さらながら、先生の偉大さが思い知らされてなりません。なかでも、先生は経済・政治研究所を中心に、アメリカのコロンビア大学との親交もあった関係から、アメリカの大学と提携して研究機関の充実をはかるべく大きな構想をもっておられたが、わたくしが経済・政治研究所長に就任しました今日、その構想にご協力出来なかったということは、なにをさておいても残念に思えてなりません。

安らかに、先生のご冥福をお祈りしながら、今後は、先生の示された道をまちがいなく歩んでいきたいと思います。

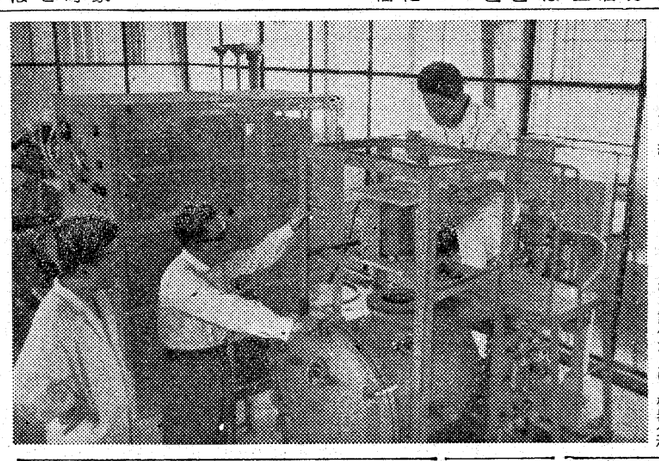
研究室訪問 ⑤

のびゆく工学部

社会の関心も深まる

工学部実験実習場

【金属・化学】



七月二日、関西大学ならびに校友会主催で、本学工学部長・田中晋輔博士を中心に、工学関係の学術講演会を大阪・産経会館で催し、多数の来聴者を集めて盛況をきわめた。徐々に各界から注目されだした本学工学部を、先月は電気工学科、機械工学科を訪問したが、今月は金属工学科、化学工学科を紹介することにした。

ひとくちに金属といっても、研究面では物理的、化学的、機械的にと多方面にわたるところから、その間口はいたって広い。

ここでの指揮陣のほとんどが冶金専攻で、なかでも客員教授・沢村宏博士は鉄、鋼の権威として鉄工協会会長を歴任、日本の冶金におけ草わけの一人として名が知られている。さらに、助教授以上はすべてが学位をもっているのもこの金属工学科だけである。設備面においても、他学科のいずれもがそうであるように、ここでの自慢として高温顕微鏡、X線のオートメーションとしてX線ガイガーフレックス、電工溶解炉、今年の予定購入機として比熱示差熱分析器がある。

優秀な学生を育てるという指導陣の合い言葉に、二年次から三年次への過程に二つの関門をつくり、実力のないものは残留させる方針のもとに、この学科では半分の学生が落ちたと話題をまいたが、それだけ優秀な学生が育てられているということだろう。阪大の講師でもある森田助教授もこの点については、学生の質は絶対に国立に負けないと自認している。

四学科中、一番じゃんまりとまった感じなのが化学工学科である。普通、世間では応用化学科ともいっているが、とかく、化学工学科といえば、せまい意味に解釈されるものの、本学の化学工学科は、応用化学をも含む、広い意味でのものとして期待されている。したがって、広範囲にわたっての実験用施設が完備されている。しかも、従来の化学的試験管とビーカーという設備からは、機器分析を中心にした実験設備は、他大学には見られないものがある。実験時間にしても週六時間と、他学科とも実験密度は高く、無機工業化学を担当の香坂教授をはじめ、小川教授、阿部教授、槙場教授とこの夏休みには、自分達の研究もかえりみずに、一週間にわたって丸善、大阪ガス、松下電器産業ら十八カ所の工場見学に学生達を指導、その努力には頭の下がるものがある。

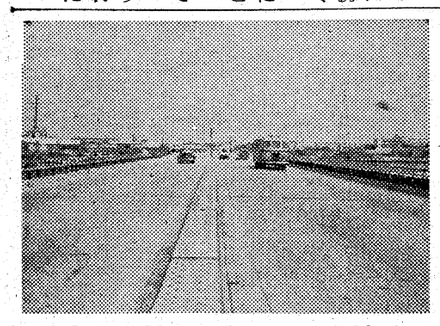
いずれにしても、多勢の学生を少ない教授陣で手をとって教え、足りない点はプリントなり、十六ミリで実験方法の基礎を指導、なかなか大変なものである。しかし研究用施設の不備はまだあるとしても、工学部の発展過程にはやむを得ないとして、ただひたすらに学生の育成に専念、私学の特長を生かした教育方法を工夫し、実社会に出てもすぐに役立つようにと基礎的研究をかねて業界と結びついた研究へと、その指導陣の熱意と努力こそ、本学工学部のすべてが語られるようである。

どの教授に会っても、指導法に強く自信のあふれたものがはっきりと感じられる。就職に対する懸念はなにひとつない。他大学にくらべても決して遜色のない学生が、充実した設備のもとに育てられていく。工学部の実験実習場をたずねて、最近の先端をいく技術を取得出来る学生こそ、なによりも幸せだということを、これ程、強く感じさせられるものはなかった。

情緒豊かな南国

―悲劇の島・沖縄―

尾崎義之



「日本語をしゃべって、ドルで買物、いきな外国」へ行ってみたいとの望みで昨年六月頃から計画、その八月には琉球大学十周年の記念行事である大学祭（十二月）に参加してもらいたいとの招待を受けながら、それには外国旅行への不便さ、やれ旅券申請だの、いや外貨割当が厳しい、旅行目的は何か、学術調査という名称がつくかぎり一応身元調査を行う云々。その手続のうるさいこと。東奔西走のすえ、十二月に行なう大学祭に間に合わなくなってしまった。実際ばかばかしい。元日本国沖縄県たる一つの島へ行くのに、これほどまでにうるさいものか、これも敗戦という悲劇のあらわれなのだと思いながら、我々メンバーも準備のために息切れ寸前、しかも大部分の学生も部合が悪いとのことで参加出来ぬ有様となった。だが、残る我々は持前のファイトから一度計画したもの、ぜひ実現してみせるとの一念から、再度、当局へ書類を提出、やっと許可が下付されたのは、今年の二月下旬であった。計画も長期にわたり、しかも幾度か断われながら、実現出来るようになった時のうれしさ、本当にうれしかった。当初のメンバーからみれば、ずっと減って、なにか物足りない気持であったが「とにかく沖縄へ行こう」とのうれしさで、この春休みを利用して、四月一日から二十五日まで旅行。その訪問記はすでに横田教授が報告されましたので、別な角度から、私の見たまま感じたものをお知らせ致します。

×　×

うすら寒い四月一日、関西汽船の処女航海たる浮島丸で神戸港から出帆、途中、奄美大島の名瀬に立ち寄り、一路琉球列島へ、四日朝那覇市泊港へ入港。港から見る米軍基地としての充実した設備にはうわさに聞くもまさにしかり、レーダー、無線塔の立ち並ぶ光景を目の前にして、入港の第一印象としては、ちょっといやな感じがした。敗戦直後の日本の状態を想い出す。糸のような小雨の降るなかをまずは沖縄へ上陸、我々の憧れた琉球へやってきたのだ。いつの間にやんだのか小雨の後にはきらきら照りつける太陽！。それもまばゆい。三日前までは、冬の身仕度をしていたのが、ここでは不必要だった。直射日光で、しかも高温多湿。道行く人々はほとんど夏姿である。丁度、内地（沖縄では日本のことを内地、本国と呼んでいる）では六月中旬、農村では田植の季節であろうにと思う。出迎えの琉球大学の車で那覇市内をまわる。道路の立派なこと。しかも十文字型にうまく計画されて、要所々々で結ばれている。だが、道路だけが立派に見えて、その沿道に建ちならぶ貧しい民家とは対象的、しかも、かっての激戦地・那覇においては、いまだ復旧されずにある焼け野原が、あちこちで散在しているのを見ると、痛ましい。近代的ビルもあるにはあるが数少なく、そのほとんどが赤銅色の瓦に、ピッシリと漆喰いで真白く塗りかためてある。日本風の民家が連らなっている歩道を琉装した老人、アメリカ風・いわゆる近代的な服装の若人、それに混じるアメリカ人男女、子供、さらには日本内地の人々等……。

南島育ち、独特の浅黒さ、しかも毛深い琉球人、白人で代表せられるアメリカ人、その中間色を有する日本人、他国の人々、これらの人々が行きかよう光景をみるに、やはり南島・琉球であり、しかもアメリカの軍事基地であり植民地と呼ばれている島であるだけに妙な感じである。だが南島独特の雰囲気は、如何なる人種が住んでいようとも、その底辺には一貫した流れがあるようだ。

梁順栄、金賢中両氏祖国（朝鮮）へ

在日朝鮮人の祖国帰還協定の成立によって、本学校友の梁順栄氏（昭27学一法）が第二十九次帰国船で帰国、金賢中氏（昭27学一文）は七月二十五日大阪発第三十二次帰国船で祖国への途につく。

校友の動き

移転

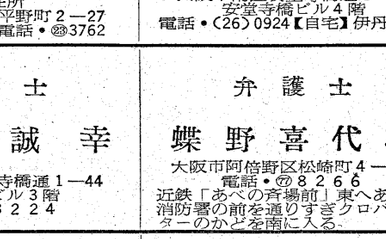
▼堀田武氏（昭7専一法、新進繊維社長）大阪市阿倍野区松虫通一ノ一四
▼井手龜正夫氏（昭17大法）大阪市生野区勝山通七ノ四五一
▼神野春雄氏（昭26専二商）奈良県生駒郡生駒町山崎新町
▼勝浦清二氏（昭25学一経）神戸市生田区山本通四ノ八九
▼文野清意氏（昭19大法、建設省住宅局住宅建設課長補佐）東京都世田谷区祖師ケ谷二ノ一六〇祖師ケ谷住宅B四一〇号
▼井上道一氏（昭30学一法・マツダオート大阪人事係長）枚方市大字茄子作二七一六日本住宅公団香里D団地一三号館五一四室
▼山田正明氏（昭32学一英）池田市渋谷町五月ケ丘団地四ノ三〇二
▼戸田都夫氏（昭33学一商・岡山大一青果）岡山市広瀬町八四
▼平野右雄氏（昭14専二英）西宮市甲子園口四ノ三一一
▼森田信男氏（昭18関甲）大阪市東住吉区湯里町二丁目日本住宅公団針中野団地五号館一〇一号
▼坊垣憲正氏（昭30学二経）茨木市茨木二九〇ノ六三和荘新館一〇
▼西村登事務所（昭27学一法・弁護士）大阪市北区絹笠町一六大江ビル五階五六号室
▼長島輝行氏（昭19専一経）大阪市大正区泉尾上通二ノ一
▼池田吉秀氏（昭33学一経）大一商店・宇津川村大字旭一四五〇宇津川村大字旭一四五〇
▼真本純夫氏（昭29学二商）大阪市天王寺区篁ケ芝町二二六
▼竹谷勝美氏（昭30学一商）大阪市南区高津四番丁四一
▼久保達次氏（昭30学一商）福岡市清水高田町二五
▲長江武夫氏（昭22専二商）大阪市西区九条通一ノ八七〇
▼前田秋雄氏（昭24大経・大商証券名古屋支店）名古屋市千種区本山町二ノ二六
▼秋山定氏（昭29学二法）神戸市
▼林信夫氏（昭7専二英・校友会広報部長）は毎日新聞大阪本社紙面審査委員【連絡部長】に栄転。
▼藤田令九氏（昭9専一法・校友会常議員）は大阪府知事室広報課長代理【広報主査】に栄転した。
▼寒川喜一氏（昭8専一法・校友会総務部長）は大阪府労働部長【大阪府人事委員会事務局長】に栄転した。
▼篠原昭三氏（昭29院修政・校友会常議員）は大阪府衛生部医務課【衛生部監理課】に転任した。
▼織田佐代治氏（大14大法）は近畿公安調査局総務部長【三重地方公安調査局長】に転任した。
▼増田昌弘氏（昭32学一経）は日本電気硝子大阪営業販売所【本社経理課】に転任した。
▼島津高昭氏（昭33学二法）は高知県農業団体課【高知県大阪事務所】に転任した。

転勤

【】内は旧職

▼久保健氏（29学一法）は大阪高速印刷に転勤。住所も尼崎市水堂榎木二〇榎木荘第一住宅上八号室に移した。
▼前川太良右門氏（昭9専二法・校友会常議員）は大阪国税局西宮税務署長【中京税務署長】に転任
▼早崎俊造氏（昭8専一法）は大阪国税局左京税務署長【近江八幡税務署長】に転任した。
▼藤井高茂氏（昭10大法）は大阪国税局豊能税務署長【吉野税務署長】に転任した。
▼安達真三氏（昭4専法）大阪国税局旭税務署長【住吉税務署長】に転任した。
▼平岡憲志雄氏（昭8専二法）は大阪国税局島城税務署長【局協議団奈良支部長】に転任した。
▼吉川義治氏（大13専法）は大阪国税局須磨税務署長から勇退した
▼栩野幸太郎氏（昭6法専）は大阪国税局西宮税務署長から勇退
▼中村石之助氏（大13専商）は大阪国税局和歌山税務署長から勇退

OB速記事務所
大阪市生野区片江町6の87
電話 ㉓2874 ㉔2564
橋詰幸一



暑中お見舞い申し上げます
昭和35年盛夏
弁護士有志

弁護士 阿部甚吉 大阪市北区若松町23 電話・㉞0764
弁護士 東栄 大阪市東区横堀2—18 電話・㉘2528
弁護士・法学士 伊藤秀一 大阪市北区樋上町80 吉川大二郎法律事務所 電話・㉔0881・4445 自宅=高槻市北桜ケ丘134 電話・高槻⑥434
弁護士 今井勝 大阪市北区堂島船大工町32 電話・㉞6715
弁護士・法学士 上野俊彦 大阪市北区紅梅町112 紅梅ビル5号室電話・㉝7933 自宅=吹田市糸田町3316
弁護士 植垣幸雄 大阪市東区本町4—15 中江ビル電話・㉙3712
弁護士 植田完治 大阪市東区内平野町2—2 電話・㉞4150
弁護士 梅原貞治郎 大阪市東区備後町2—21 野村ビル517号室 電話・㉘1740
弁護士 越智比古市 大阪市東区今橋1—1 壱番館ビル電話㉘6016
弁護士 大沢憲之進 大阪市北区絹笠町16 大江ビル40号室 電話・㉔0262【自宅】㉝6604
弁護士 大津権作 大阪市北区若松町24 電話・㉞6921
弁護士 大月伸 大阪市西区土佐堀通1—1 大同ビル402号室 電話・㊹2671
弁護士 大原篤 大阪市北区若松町22 電話・㉞0361
弁護士 奥村孝 神戸市生田区橘通楠町1—91安藤方 自宅=神戸市長田区前原町1—206 電話・神戸④1314
弁護士 加藤正次 大阪市南区笠屋町38 電話・㉟4070・3119
弁護士 狩野一朗 大阪市北区曽根崎新地2—46 電話・㉔5744 自宅=吹田市山田下2050 電話・山田局122
弁護士 樫本信雄 大阪市北区堂島上2—39 毎日産業ビル6階 電話・㉝5140【自宅】㊼3038
弁護士 神宅賀寿恵 自宅=大阪市北区老松町1—32 電話・㉞0620
弁護士 亀井譲太郎 大阪市西区靭上通1—34 電話・㊹3034
弁護士 川根洋三 大阪市北区絹笠町16大江ビル35号室 電話・㉞2001（直通）6231（代表） 自宅大阪市東住吉区田辺西之町1—1 電話・㉙1903
弁護士 河内兼三 大阪市東区北浜2—31 平和ビル26号室 電話・㉘6793
弁護士 木村楢太郎 大阪市天王寺区上本町8—39 電話・㉟6615
弁護士 岸井八束 大阪市東区道修町1—11 加藤ビル 電話・㉘5809
弁護士 渋川鶴蔵 大阪市北区絹笠町8 電話・㉞5340
弁護士 芦有開発KK常任監査役 下條小野右衛門 午前在社 芦屋市公光町芦屋市公会堂内 電話・芦屋427 午後在所 大阪市東区平野町2—27 石元ビル3階・電話・㉘3762
弁護士 白井誠 大阪市南区安堂寺橋通1—44 安堂寺橋ビル4階 電話・(26)0924【自宅】伊丹3593
弁護士 白井正實 大阪市東区備後町2野村ビル 電話・㉘0260 自宅=神戸市東灘区本山町岡本 電話・神戸⑧4427
弁護士 白川朋吉 大阪市阿倍野区帝塚山中1—75 電話・㊺2373
弁護士 新貝康男 大阪市北区旅籠町6 電話・㉞0341
弁護士 田中藤作 大阪市南区高津町二番丁42 電話・㉟6878・6879
弁護士 田村徳夫 大阪市北区絹笠町50・堂ビル622号 電話・㉞3605（直通） 自宅=西宮市北昭和町179 電話・西宮②2356
弁護士 武田蔵之助 大阪市東区北浜2・武田ビル 電話・㉘2147
弁護士 棚野誠幸 大阪市南区安堂寺橋通1—44 安堂寺橋ビル3階 電話・㉙3224
弁護士 蝶野喜代松 大阪市阿倍野区松崎町4—112 電話・㉗8266 近鉄「あべの斉場前」東へあべの消防署の前を通りすぎクロバーバターのかどを南に入る。
弁護士 辻本幸臣 大阪市北区老松町3・西天満ビル5階 電話・㉞9004（直通）8555（代表） 自宅=大阪市西成区天下茶屋3—14 電話・㊺5946
弁護士 富田貞男 大阪市北区絹笠町・堂ビル2階 電話・㉞2661・1141
弁護士 中井弥六 大阪市北区木幡町6 電話・㉞6061
弁護士 中務平吉 大阪市東区今橋1 朝日生命ビル4階 電話・㉘2717
弁護士 中野留吉 大阪市北区鳴尾町33 電話・㉞0527
弁護士 中村公男 大阪市南区清水町21 電話・㉗3028 自宅=大阪市阿倍野区北畠中2—24 電話・㊺2596
弁護士 中村信逸 大阪市東区北久太郎町2 松本ビル電話・㉘9924 自宅=堺市北三国ケ丘町6—200 電話・堺②8057
弁護士・税理士 鍋島友三郎 大阪市東区今橋1—1 壱番館ビル27号 電話・㉙6001～5 自宅=宝塚市川面字西鶴居3
弁護士 西浦義一 大阪市南区安堂寺橋通1—44 安堂寺橋ビル4階 電話・㉞0924
弁護士 馬場次郎 大阪市北区若松町22 電話・㉞7445 自宅=大阪市生野区新今里町6—12 電話・㉙1795
弁護士 深川実 大阪市北区角田町2 電話・㉞3928
弁護士 前田常好 大阪市北区絹笠町16 大江ビル3階374号 電話・㉞6846 自宅=布施市荒川3—15 電話・㉟1492
弁護士 南政雄 大阪市北区樋上町64 大三ビル22号室 電話・㉞8517
弁護士 安富敬作 校友会豊中支部長 大阪市西区土佐堀通1 肥後橋ビル・電話・㊹0031 自宅=豊中市岡町南2—1 電話・豊中②3801
弁護士 山根滝蔵 大阪市北区堂島船大工町23 堂栄ビル新館5階551号室 電話・9008（直通）5571（代表） 自宅=神戸市東灘区本庄町深江永江町76
弁護士・法学士 弓場晴男 大阪市北区樋上町38 藤ビル2階電話・㉔6012 自宅=尼崎市潮江シイレ29 電話・㊺7753
弁護士 横田長次郎 大阪市北区北扇町46 電話・㉞0728
弁護士 米田恒治 大阪市南区順慶町2—46 カシカリビル3階 電話・㉘4340 自宅=川西市栄根字上小瀬1—16 電話・池田(076)4380